
ある午後の話

森下 加夜子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある午後の話

【著者名】

森下 加夜子

【あらすじ】

The Golden Afternoon?

ものみな金色にかがやく午下つ。新緑萌ゆる土手の上。

ローリーナはかわいい妹をつれてピクニックに来ていたんだ。

ローリーナは木陰で読みかけだった本の続きを手をつけたのだけど、妹のほうはすぐに退屈してしまったの。本をのぞき込んで、「台詞も挿絵もないなんてつまんない」なんて言つてね。

横になつて甘えたり、シロツメクサの花冠を作つたり。それでも姉さんは読書に夢中でかつてもいられないものだから、しまいには川まで遊びに下りちゃつた。

ローリーナのほうは氣がついたら妹がいなくなつてものだから、あわててキヨロキヨロ探してね。川で遊んでいるのを見つけたときにまつにまつにため息がでちゃつたのよ。

「 もう、アリスつたらー。

あなたが眠らなことお話ははじまらないのにーー元の

今ならローリーナにだつて目を開じれば走るウサギが見えるのに、かわいそうなウサギは今日も急ぎ損。

ローリーナがかわりに追いかけてあげたいくらいの気持ちなのだけどローリーナはもう13歳。ウサギのたて穴は通れない。

彼女の傍らには読み終わった本と、ついおれた花冠が並んでいた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5830m/>

ある午後の話

2010年10月11日05時35分発行